

基督教学研究

第 38 号

論文

オリゲネスにおける神的場所概念の考察

——『祈祷』の議論を主軸として——……………津田謙治……………1

創造しない創造者

——モルトマンの創造論とレヴィナスの存在論——……………濱崎雅孝……………31

有賀鐵太郎没後四〇年記念シンポジウム報告

ハヤトロギアと《論理の中断》——序説——……………水垣涉……………51

父、有賀鐵太郎への想い……………有賀誠一……………77

研究ノート

遊びと聖書解釈

——ガダマーによるブルトマンへの議論をもとにして——……………岡田勇督……………93

前期P・テイリツヒにおける形而上学の構造

——啓示の出来事とその語り——……………平出貴大……………107

カントの宗教哲学における神義論の問題……………南翔一朗……………125

ヴァルター・フライターク「伝道の神学」と伝道活動

——中国伝道を中心に——……………南裕貴子……………141

彙報

彙報

A. 二〇一八年度キリスト教専修講義題目

吉名定道 教授

系共通講義…

特殊講義…

「キリスト教講義 A・B」
「キリスト教思想と宗教哲学(4)——アジアと日本のキリスト教思想」(5)——
宗教哲学の諸問題」

特殊講義 A・B…「キリスト教思想研究入門…宗教改革から近代キリスト教思想へ(前期)、旧

約聖書と哲学的問い(後期)」
「日本・アジアのキリスト教…無教会キリスト教の系譜(9)——内村鑑三、(10)——賀川・徐・栗林」

演習…

演習(前期)…

「キリスト教思想の基礎文献を読む」
(Paul Tillich, *Vorlesungen ueber Geschichtsphilosophie und Sozialpaedagogik* (Frankfurt 1929/30))

演習(後期)…

「新約聖書とその思想——パウロ研究

演習…

講読…

(6)——
「キリスト教思想の諸問題」(大学院生の研究発表)

「キリスト教思想基礎文献を読む…ティルヒヒ『キリスト教と諸世界宗教との出会』(前期)」、H. Richard Niebuhr, *The Responsible Self: An Essay in Christian Moral Philosophy*. (後期)」

村上みか 講師

特殊講義(前期)…「スイス宗教改革研究」

津田謙治 講師

特殊講義(集中)…「初期キリスト教の教父思想と諸哲学」

河崎 靖 講師(後期)

演習…「ボンヘッファーのテキストを原典で読む」

狭間芳樹 講師(後期)

「キリシタン版から考察する近世日本のキリスト教」

手島 徹矢 講師

語学…「古典へブライ語初級・中級文法」

B. 二〇一八年度論文題目 (二〇一九年三月)

卒業論文

中原みなみ 「賀川豊彦におけるキリスト教思想と宇宙論」

修士論文

香西 信 「ヨハネ福音書におけるキリスト論の一考察
—8章12節の「我は」章句解釈を中心に—」

山中健司

「矢内原忠雄の「日本的基督教」の基本構造—
聖書信仰、団体観念、日本精神・「神観」批判
—」

C. 二〇一八年度研究発表会

第二十回研究発表会

二〇一八年七月十四(土)、京都大学文学部校舎2階 第七講

義室

金 香花 「訳語論争と等価」

津田謙治 「オリゲネスにおける神的場所概念の考察—
『祈禱』における議論を主軸として—」

第二十一回研究発表会

二〇一八年十二月一日(土)、京都大学文学部校舎2階 第七

講義室

研究発表

平出貴大 「P・テイリツヒの宗教思想における方法論

的問題」

岩城 聰 「パレスチナ問題とそれに関わる神学的諸課

題」

京都大学基督教学会規約

- 一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。
- 二、本会は基督教学研究の進展を目的とする。
- 三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。
 - (一) 研究集会、講演会などの開催
 - (二) 学会誌『基督教学研究』の発行
 - (三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流
 - (四) その他の必要な事業
- 四、本会は基督教学の研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって構成する。
 - (一) 一般会員
 - (二) 学生会員 大学院学生及びこれに準ずる者。
 - (三) 会友 本会の趣旨に賛同するもので、研究集会での発表の機会と学会誌の配布を受けることができる。
会友希望者は、委員会の承認により会友となること
ができる。二年以上会友であった者で、会員になる
ことを希望する者は、会員二名の推薦により委員会
の議を経て、総会で承認を受けるものとする。
- 五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれ

に充てる。
会費として、会員は年五千円、会友は年三千円を納めるものとする。

六、本会の運営のために次の委員を置く。

(一) 代表者 (一名)

(二) 委員 (若干名)

(三) 監事 (一名)

七、本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。

八、本規約は運営委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。

附則

本規約は一九九八年十二月施行、二〇〇八年七月改訂。

運営委員会

代表者…宮庄哲夫

委員…片柳榮一、勝村弘也、芦名定道、武藤慎一、

岩城 聰、岩野祐介

監事…笠井恵二

執筆 者

津田謙治	西南学院大学教授
濱崎雅孝	関西学院大学他非常勤講師
水垣涉	京都大学名誉教授
有賀誠一	カナダ合同教会引退牧師
岡田勇督	京都大学大学院文学研究科後期課程
平出貴大	京都大学大学院文学研究科後期課程
南翔一郎	京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了
南裕貴子	京都大学大学院文学研究科後期課程

『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。

（本規定は二〇〇〇年十二月十六日から施行する）

第三十八号編集実務委員会

宮 庄 哲 夫
片 柳 榮 一
勝 村 弘 也
芦 名 定 道
武 藤 慎 一
岩 城 聰
岩 野 祐 介

二〇一九年三月二十一日印刷
二〇一九年三月三十一日発行

定価一五〇〇円

発行者

京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科
キリスト教学研究室内

発行人

宮 庄 哲 夫

発売元

㈱一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

㈱アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、もしくは、右記、京都大学基督教学会（振替〇一〇三〇一五七七二〇七）へ、定価一五〇〇円（送料当方負担）を添えてお申込みください。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol. 38

3, 2019

Contents

- Der Raumbegriff von Gott in Origenes' über das Gebet*
..... TSUDA Kenji
- The Creator who did not create: Moltmann's theory of creation and
Levinas' ontology* HAMAZAKI Masataka
- "The Interruption Logic" as the Key to Ariga's
Interpretation of Christian Thinking* MIZUGAKI Wataru
- ARIGA Tetsutaro: seen through his son's eyes* ARIGA Seiichi
- Play and Biblical Interpretation: Based on Gadamer's Argument to
Bultmann* OKADA Yusuke
- The Structure of Metaphysics in the early Paul Tillich's Thought*
..... HIRAIDE Takahiro
- The Problem of Theodicy in Kant's Philosophy of Religion*
..... MINAMI Shoichiro
- Theology of Mission and Mission Work in Walter Freytag: focus on
Chinese Mission* MINAMI Yukiko

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan